

# 七尾小学校からの報告

## 水生生物調査結果

調査場所名 ( No. )		今莊橋付近 No.1	野村町 No.2	北池町の親水公園 No.3										
月	日	5月31日	6月14日	6月14日										
時	刻	11時00分	10時50分	12時00分										
天	気	曇り	晴れ	晴れ										
水	温 ( °C )	21°C	19°C	19°C										
気	温 ( °C )	26°C	27°C	29°C										
川	幅 ( m )	5m	2m	2m										
河	川 名	姉川	農業用水	小川										
生物を採取した場所		川の中央	川の中央	川の中央										
水	深 ( cm )	10cm	25cm	10cm										
流	速 ( cm / s )	5cm/s	3cm/s	4cm/s										
水	のようす	指標生物												
I きれい	1	カワゲラ類	○											
	2	ナガレヒケラ・ヤマトヒケラ クロツツヒケラ類	●											
	3	ヒラタケロウ類	○	○	○									
	4	ブユ類												
	5	ヘビトンボ類												
	6	カガンボ類												
	7	サワガニ	○	○	●									
I・II 共通	8	ウスムシ類												
	9	2以外のヒケラ類	○	○	○									
	10	3、14以外のカゲロウ類	○	○	○									
II 少しよごれている	11	ヒラ外ロムシ類	○	○										
	12	ジジミ類		○										
II・III 共通	13	カワニナ		●	●									
III よごれている	14	サホコカゲロウ												
	15	ヒル類												
	16	ミスムシ												
	17	モノアラガイ												
III・IV 共通	18	サカマキガイ												
IV 大変よごれている	19	赤いユスリカ												
	20	イトミス類												
	21	ハナアブ類												
水 質 判 定 表	水のような区分		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
	1	みつかった指標生物の 種類の計 (○+●)	6	3	0	0	4	5	1	0	4	3	0	0
	2	みつかった指標生物のうち 一番数の多くあった種類(●)	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	0
	合 計 (1欄+2欄)		7	3	0	0	4	6	2	0	5	4	1	0
判定結果(合計が最も大きい区分)		I				II				I				

## 調査考察、活動内容

本校では、毎年4年生がみずすまし調査隊になり調査活動を行っています。今年度も4年生8名が、学区を流れる姉川と野村町・北池町の集落内水路の水生生物調査を行いました。

### (1) 姉川・今荘橋付近での水生生物調査

5月31日（水） 天気（曇り） 気温（26℃） 水温（21℃）

まず、学校から徒歩10分くらいのところにある今荘橋付近の姉川を調べました。子どもたちにとって、水生生物の調査活動が初めての経験だったため、最初は戸惑う様子が見られました。しかし、講師の先生に丁寧に教えていただき、水生生物を探す要領をつかむと、夢中になって活動していました。グループで役割分担し、協力し合って、たくさんの水生生物を見つけることができました。子どもたちは捕まえた生き物を講師の先生のアドバイスやパンフレットなどをもとに分類し、身近な水環境について考えることができました。

姉川では、きれいな水にすむ水生生物のトビケラ類がたくさん見つかりました。その他にも、カワゲラ類やカゲロウ類、サワガニなどの生物も見つかり、自分たちの地域の川の水がきれいであることを知りました。



大きな石を持ち上げ、石の裏にすんでいる生物を見つけました。グループで協力しながら、水生生物を隅へ追い込み、大きな生き物は網を使って取りました。

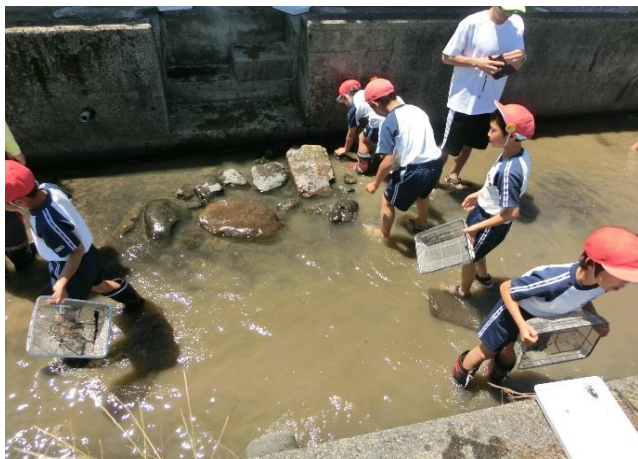


生物を河原で分類すると、トビケラ類がたくさん採取できたことを確認することができました。

6月14日(水) 天気(晴れ) 気温(27℃) 水温(19℃)

次に、子どもたちにとって、より身近な自分たちの住む集落内の水環境について調べるために、野村町の集落内農業用水と北池町の親水公園の水生生物調査を行いました。今回、子どもたちは姉川に続き2度目の調査活動だったこともあり、スムーズに活動に取りかかることができました。

姉川では見ることはできなかった生物をとることができ、子どもたちはとても喜んでいました。特に、野村町での水生生物調査では、採取した生き物の中で、準絶滅危惧種として登録されている二枚貝のツカサガイを見つけました。そして、講師の先生の説明を受けながらじっくりと生物を観察し、ルーペで細かくその生物の特徴を確認することができました。調査を進めて採取した水生生物を分類すると、生活用水などが流入するため、少し汚れた水環境に生息するカワニナがどちらの調査場所でも多く見つかりました。しかし、きれいな水環境にすむカゲロウ類やサワガニなども見つかることから、全般的にはきれいな水環境であるといえます。貴重な水生生物がすむ水環境を維持するため、自分たちにどんなことができるか、講師の先生のお話を聞きながら考え、七尾祭で発表することができました。



野村や北池の集落内では、姉川の調査の時とまた違った種類のたくさんの水生生物を採集することができました。



## (2) 子どもたちの環境日記より

### 《姉川での活動から》

ぼくは水生生物調査でナガレトビケラとサワガニをつかまえました。ザルでとったり、あみでとったりしました。川の水はとても冷たかったです。でも、川がきれいだとわかってうれしかったです。

姉川の水はすごく冷たくて、全然にごっていませんでした。生物は石の間や、大きな石の下にいました。調べた結果、姉川の水はきれいだということがわかりました。でも、姉川にはごみが落ちたりしているのに、どうしてきれいなのかとても不思議に思いました。

姉川では流れが速いところとおそい所があって、流れがおそいところで生物を捕まえました。ぼくは、ヒラタカゲロウを捕まえました。それを調べたら、きれいな水のところにいる生き物でした。姉川はきれいな水であるということがわかりました。

### 《野村町・北池町での調査活動から》

ぼくの班はカワニナがたくさんとれました。全部で 10 ひきもとれました。たくさん見つけることができ、うれしかったです。トビケラとカゲロウのなかまは 5 ひきとれました。そっとさわると丸くなりました。今度川に行くときは、まだ見つけていない水生生物を見つけたいです。

わたしの班ではマツカサガイを見つけました。川の中に入ったらにごっていて、少しつめたかったです。あみとかごを使って、いろいろな生物をとりました。姉川では見つけられなかった水生生物がいっぱいとれてうれしかったです。

ぼくの班はサワガニとトビケラとカワニナとカゲロウをとりました。1 番多かったのはサワガニでした。全部で 15 ひきとれました。他の班のもまともると全部で 40 ひきとれました。水生生物がいっぱいいた場所は石のうらでした。姉川の時よりいっぱい生物が見つけられて、うれしかったです。

## (3) 活動を終えて

今回の調査結果から、姉川も学区内の川も「きれいな水」が流れていることがわかりました。これは、観測した地域が河川の上流ということや、下水道の整備が進んでいることなどが理由として考えられます。

子どもたちにとって、水生生物調査は、地域の川とふれ合う機会になり、また、身近な環境に目をむけるきっかけ作りになりました。川の水を汚さないためには自分には何ができるのかということ子どもたちに考えさせ、水を大切に作る気持ちをこれからも育てていきたいと思えます。